

## 【新型コロナワクチン接種事業について】

### (一問目)

市議案第97号令和3年度豊中市一般会計補正予算第13号のうち、感染予防事業の新型コロナワクチン接種事業について伺います。今回の補正の内容は、3回目のワクチン接種を実施するための接種体制の継続及び対象年齢拡大に対応した体制整備の準備のための事務費や委託料等の補正とのことですが、

まずは、3回目のワクチン接種について伺います。3回目接種の対象者は18歳以上の方のようですが、現時点での18歳以上の方のワクチン接種率を教えてください。現在、ワクチン接種の対象年齢は12歳以上であり、今後、さらに対象年齢が拡大されようとしています。3回目接種の対象年齢が18歳以上となっている理由を教えてください。また、今後、18歳未満への3回目接種の見通しについて教えてください。

3回目の接種場所は、基本的には1回目や2回目を接種した医療機関や集団接種会場、職域接種など同じ場所での接種を想定されているのでしょうか。これまで、個別接種に協力して下さった市内の医療機関は全て3回目の接種にも協力して下さるのでしょうか。また、3回目接種のための市の集団接種会場については、どのように想定されているのでしょうか。現時点で想定している会場の場所及び集団接種実施の頻度について、教えてください。基本的には、これまでと同様の場所を想定されているのか、シャトルバスの運行も予定されているのか、もしくは、これまでよりも交通アクセス、利便性の良い場所を検討されているのか、教えてください。さらに、今回、新たにドライブスルー方式のワクチン接種の実施については考えられないか、その為に、例えば、国に対して森友学園のグラウンドの使用許可を求めることは出来ないか、併せて、見解をお聞かせ下さい。

あわせて、府や国の大規模接種については、これまでと同様に実施される予定なのか、教えてください。また、1回目や2回目を接種した医療機関や集団接種会場、もしくは職場で3回目接種が受けられない方に対しては、どのような対応を想定されているのでしょうか、教えてください。

2回目の接種から8か月を経過した方から順次3回目の接種が受けられるようになるのですが、2回目の接種から8か月経過すると、感染や発症の予防効果や重症化予防効果は、どの程度、低下するのか、もしくは、ほぼ効果はなくなってしまうのか教えてください。また、効果が低下する割合や時期は、ファイザー社製のワクチンでも、モデルナ社製のワクチンでも、どのワクチンでもほぼ同じなのか教えてください。3回目接種のワクチンについては、1回目と2回目と同じものが好ましいのか、異なってもよいのか、3回とも同じワクチンを接種する場合と、異なったワクチンを接種する場合の効果の違いとあわせて、教えてください。

一方で、3回目接種の副反応についても、1回目や2回目との比較や、年齢や性別による傾向や特徴など、分かっている範囲で詳しく教えてください。また、3回とも同じワクチンを接種する場合と、異なるワクチンを接種する場合の3回目接種時の副反応の違いや何らかの傾向があれば、分かっている範囲で教えてください。

### <答弁>

現時点での18歳以上市民のワクチンの2回目接種率は約83.1%となっております。

3回目接種が18歳以上となっている理由については、厚生労働省による設定になります。18歳未満の3回目接種の見通しについては、国の方針のため未定です。

3回目のワクチン接種場所については、これまでの1回、2回目と同じく個別接種を中心とした市内各医療機関での実施を予定しており、医療機関の接種の意向を取りまとめているところです。また市内に集団接種会場を設け接種体制の補完を予定しております。会場については、前回の接種状況などを踏まえ、効率的な設置箇所、会場数の検討を進めているところです。集団接種会場へのシャトルバス運行については、予定はしておりません。また、ドライブスルーワクチン接種の実施や森友学園を会場とするための使用許可については、ドライブスルー接種は予定しておりません。

意向のとりまとめの結果3回目接種を実施しない市内医療機関、または3回目を実施されない大規模接種会場、職域接種会場で1,2回目の接種を受けた方につきましては、とよなかワクチンダイヤルにお問い合わせをいただきましたら、対応できる個別接種を実施している医療機関、または集団接種会場をご案内いたします。なお、府・国の大規模接種会場設置の動向については、未定です。

2回目接種から8か月を経過した後の予防効果についてですが、第26回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会資料によると、ファイザー社製ワクチンの感染予防効果は、2回目接種後6か月では50%前後まで低下したとされています。発症予防効果は、2回目接種後に経時的に低下するものの、高い予防効果を示し、重症化予防効果・死亡に関する予防効果は、2回目接種後2か月で96%以上に達した後、2回目接種から6か月後までは維持したとのことです。

効果の低下は、どのワクチンでも同じかという点について、分科会資料によると、モデルナ社製ワクチンの感染予防効果は、2回目接種後4か月以降において経時的に低下、発症予防効果は、2回目接種後4か月以降において、90%以上に保たれたということです。

追加接種で用いるワクチンは、厚労省は、諸外国の取組みや有効性・安全性に係る科学的知見を踏まえ、1,2回目に用いたワクチンの種類に関わらず、mRNAワクチンを用いることが適当としています。ただし、当面は薬事承認されているファイザー社製ワクチンを使用することとし、追加接種にモデルナ社製ワクチンを使用することに関しては、薬事審査の結果を待って、改めて議論するとしています。

追加接種の副反応は、分科会資料によると、1,2回目接種で報告された副反応と同程度であり、交接種と同種接種で差がなかったということです。

## (二問目)

接種対象者年齢の拡大について伺います。新たに接種対象者となる方の接種はいつから始まる予定なのでしょう。また、接種場所については、どのように想定されているのでしょうか。さらに、接種するワクチンについては、現在、12歳以上の方に使用されているワクチンと同じものを使用されるのでしょうか。使用するワクチンやワクチンの量が異なる場合、取り違いや混在は絶対に防がなくてはなりません。保管場所、接種会場、配送先において、取り違いや混在を防ぐために、どのような対策を講じる予定なのか、教えて下さい。

5歳以上の子どもたちへのワクチン接種による効果は、大人のワクチン接種による効果と

同程度のものなのか、分かっている範囲で教えてください。そもそも、低年齢の子どもたちへのワクチン接種は世界でどの程度、何人くらいの接種実績があるのでしょうか。また、そのことによる社会的効果については、医学的にどのように評価されているのか、教えてください。一方で、副反応についても、程度や特徴、生じる割合など、分かっている範囲で教えてください。

対象年齢を現在の12歳以上を5歳以上に拡大することですが、就学前の児童をはじめ低年齢の子どもたちの新型コロナウイルスの感染状況や感染リスク、重症化リスクについて、実績値を示すとともに、あらためて見解をお聞かせ下さい。また、それらの数値は、他の年齢層の数値と比較すると高いのか低いのか、同程度なのかについても教えてください。

また、当初16歳以上であった接種対象年齢が、途中で12歳以上に引き下げられましたが、拡大された年齢層の接種率はどのくらいなのか、参考までに教えてください。

<答弁>

新たに対象者となる方の接種時期は、早くて令和4年2月からの接種開始予定との通知を受けております。また、新たに対象者となる方の接種場所は、従来のワクチンと同様に市内各医療機関での実施及び集団接種会場の設置を予定しており、使用するワクチンは12歳以上の接種で使用していたワクチンとは違い、5歳から11歳接種用のファイザー社製のワクチンを使用します。ワクチンの使用については、市内医療機関、集団接種会場のいずれにおいて、ワクチンの混在、取違いを防ぐために、接種の日程を分ける等の運用を取り入れて対応いたします。

5歳から11歳のワクチンの効果等については、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会資料によるとファイザー社ワクチンの2回接種後1か月の免疫原性は16～25歳における同社ワクチンの2回接種後1か月と比較し同等で、2回目接種後7日以降の発症予防効果は90.7%であったと報告されています。また、接種後の5～11歳の小児について、2回目接種後約2か月の追跡調査において安全性が示されたと報告されています。

また、市内5歳～11歳の新型コロナウイルスの発症数は448件で、重症化数0件、死亡数は0件です。発症率は令和3年10月1日人口26959に占める割合は1.66%です。一方、市内12歳以上の発症数 7378件で、届出時点での重症化数31件、死亡数85件です。

これまで対象年齢の下限を16歳から12歳へ引き下げて拡大した年齢層、12歳から15歳のワクチンの2回目接種率は約52.7%です。

(三問目)

まだまだサンプル数やデータが乏しい中、さらに対象年齢の拡大で新たに接種が可能となった12歳から15歳のワクチン接種率も5割程度の状況で、重症化や死亡のリスクがほぼない10歳未満の子どもたちへの接種を推奨していく意義や必要性をどのようにお考えなのか、改めて見解をお聞かせ下さい。

2月からの接種開始を前にして、これから必ず、市長も、我々議員も、所長や保健所の方々、

各医療機関の方々も、よく聞かれることになると思いますので、どのようにお答えすべきなのか、あえて、伺っておこうと思いますが、私の娘も今回の対象年齢の拡大で、接種対象者になります。接種した方が良いでしょうか、健康医療部長のご意見をお聞かせ下さい。

3回目の接種や対象年齢の拡大の予定が今回示された訳ですが、今後、全年齢層への接種対象者の拡大や、4回目以降の接種の可能性について、どのように見込んでおられるか、教えて下さい。また、将来的にも新型コロナウイルスのワクチン接種は、インフルエンザの予防接種の様に毎年、接種が必要なのか、もしくは、ある条件が整えば、接種が必要なくなるのか、見解をお聞かせ下さい。

<答弁>

これまで豊中市では、子どもたちの間においてもクラスターが発生し、各家庭で同居している大人が感染しているケースも認められました。今後、多くの人々がワクチンを受けることにより流行を抑えること目指すため、ワクチン接種を受けることのメリットとデメリットを養育者に理解していただき、子どもに対しての接種機会を設ける必要性があるものと認識しております。

4回目以降の接種及び全年齢層への接種対象者の拡大の可能性については、国の方針のため未定です。